

議 事 録

件 名	第23回 児童虐待防止対策委員会	
日 時	平成31年4月18日(木) 14:00~15:05	
場 所	久留米市庁舎 16階会議室	
出席者	委 員	早川委員長、合原副委員長、原委員、重永委員、吉岡委員、下川委員、鹿毛委員 淡地委員、権藤委員(平田委員代理)、深堀委員、清水委員、梅崎委員
	事務局	【家庭子ども相談課】中井補佐、森 【安全安心推進課】江原主幹、岡主査
欠 席 者	なし	
傍 聴 者	なし	
次 第	1. 開会 2. 報告事項 (1) 令和元年度の主なスケジュールについて 3. 協議事項 (1) 平成30年度の取り組み実績について (2) 令和元年度の取り組み方針(案)について 4. その他 5. 閉会	
質 疑	2. 報告事項 質疑なし 3. 協議事項 赤ちゃんふれあい体験について	
委 員 1	「対策委員会としての取り組みになりきれていない」とは…?	
事 務 局	赤ちゃんふれあい体験は、学校、地域との協力体制(例えば、学校は教育委員会と実施校、地域においては、子育てサロンと主任児童委員など)のもと、対策委員会全体の取り組みとして行うものと考えているが、どうしても事務局(家庭子ども相談課)主体の事業になっていると誤解されている部分が多い。協力していただく関連団体には、情報共有をして対策委員会全体の取り組みとして再認識し、実施校の拡大を進めていきたい。	
副 委 員 長	対象中学校を拡大すべく未実施校に話をしているが、学校長によって対応が分かれ、実施につながっていない。すべての中学校での実施に向け、委員会として何かできないだろうか。	
委 員 2	学校長の考えによって推進の仕方が異なっているのは理解できる。それとは、別に各学校でなぜスムーズに推進できないか整理をして、課題となっている部分をクリアできればと思う。自分としては、小学校でも実施できればと思う。	

副委員長	<p>学校行事についてはすでに決まっていることから、翌年度の行事にこの事業を組み込んでいただくようお願いしているが、いい返事がない。あまりしつこく言うのもいけないし、どれくらいの頻度で言ったらいいのか悩んでいる。</p>
委員 3	<p>目的、重要性が学校にどの程度伝わっているか。命にかかわることで、重要であるとは認識している。もう少し分かりやすく伝えられるよう工夫してほしい。</p>
委員 4	<p>昨年の予算委員会で、すべての中学校での実施に向けて、委員会で連携して進めていきたいと回答している。周知については、人権同和啓発事業で行っている「市民の集い」で、ある中学校で行っている「赤ちゃんふれあい体験事業」について取り組みを紹介、この集いには、教職員も参加されており、趣旨は伝わっているので、理解できていると思う。後は実施に向けて教育委員会と相談しながら検討していきたいと考えている。一方で、学校側にとってもイベント的にやっていいのだろうか心配する部分もあり、子どもたちに命の大切さを理解するためには、事前学習も必要かと思う。加えて妊婦体験、ふれあい体験を学校任せにしないよう主任児童委員とも連携して進める必要がある。いずれにしても、この事業の課題について事務局で整理し、今後の進め方について委員会で示し、ご協力を仰がせていただきたい。</p>
副委員長	<p>現地審査において、審査員よりこの取り組みについて、全世界に広めたいとの称賛をいただいている。赤ちゃん、中学生、保護者が一緒にできるこの体験はなかなかない。次回の審査では、実施校が増え、全中学校でやっていることを伝えられれば、また違ってくると思う。</p> <p>昨年、新規で行った校区において、当初、事故の不安を感じたが、実際行って事故なく終了した後は、やって良かった、また継続したいとの声をいただいた。</p> <p>今後、実施校を増やすには、事前の説明を丁寧にする必要があると感じた。</p> <p>アンケートの中で、親に感謝しているとの声が多数寄せられた。委員会の中で大人の体験を話していただければ、中学生は真剣に受け止めてくれ、今の年齢では経済的に育児は無理との声もあった。思いがけない妊娠が問題になっている中、全中学校に広められるよう委員会としてお力添えをいただきたい。</p>
委員 1	<p>副委員長の熱い思いがよく伝わった。自分たちも育児プログラムをもって各自治体と連携して行っている。この事業もプログラム化して行うといいのではないか。</p>
委員長	<p>学校の行事でやろうとすると時間の制約等もあるだろう。学年単位、クラス単位でできないか、他の方法でできないだろうかと委員会に挙げていただいたら、構成団体として協力できればと思っている。</p>

副委員長	<p>赤ちゃん訪問について</p> <p>新生児訪問時に、赤ちゃんふれあい体験などの支援センターの案内を行っているが、子どもの数の減少で人数の確保が困難になっている。早めの案内を行えないか。</p>
委員長	<p>機関同士の連携、事業同士の連携が必要になるかと思う。思い付きでもいいので、仕掛けができればと考える。</p>
副委員長	<p>この事業についても、対象校区を増やせていきたいと思う。</p>
	<p>児童虐待防止啓発について</p>
委員 1	<p>どういう観点から充実しているのとらえているのか</p>
事務局	<p>11月の児童虐待防止月間で新規に行った「あきない祭」、2月に行った「連続講座」で過去最高の参加があったことを挙げている。</p>
	<p>その他</p>
事務局	<p>今年度の「赤ちゃんふれあい体験」について、日程、協力の案内を行う。</p>